

2019 年度実施概要

学校名

市川市立行徳小学校

採択活動名

行徳・海物語 ～江戸川から海へとつながる2019～

取り組みの概要

行徳小学校の位置する場所は、江戸川（放水路）の徒歩圏内である。この川は、大規模洪水を防止するため、増水した江戸川の水を東京湾に流すために作られた川である。下流域は、潮の満ち引きにより、兩岸に干潟が現れる。そのためカニや貝類などの生き物も多く、春から夏までは、潮干狩りや生き物を捕まえることができ、自然を身近に感じることができる場所である。

本活動では、まず、江戸川に実際に行き、生き物を捕まえたり、観察したりすることで、生き物に興味を持たせた。生き物と触れ合ったことで「持って帰りたい」や「育てたい」という気持ちが出てきた。実際に生き物と触れ合った経験から、育てていくためにどうすればよいかを考え、どんなことが必要か個々で課題を設定し、専門家の指導を仰ぎながら、実際に生き物を飼育した。

次に、飼育したからこそ感じられたことなどを中心に、校内で水族館を開き、保護者に発信した。生き物を育てた経験から、命の大切さを学び、その命を守っていくためには生育環境が重要であると気づくことができた。

最後に、江戸川の問題に目を向け、自分たちの身近な場所にある貴重な自然を守る活動を行った。活動に際しては、昔から地域に住んでいる方にも話を聞き、当時の江戸川の様子について話をしていた。子どもたちは、環境問題に対して自分たちができることを調べ実践した。

活動中の写真



江戸川の干潟で生き物を捕まえている様子



専門家の方から、生き物の飼育の仕方についてご指導いただている様子



水族館を開き、保護者の方が説明する様子

実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

- | |
|------------------|
| 1. 江戸川についてもっと知ろう |
| 2. 行徳水族館を開こう |
| 3. 江戸川の生き物を守ろう |